



# 上電友の会だより

(空っ風通信)

Joden Supporters Club



赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正 15 年(1926 年)の5月 27 日。

84年目を迎えた 2010 年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。今年で発足して 2 年目、これからもみんなでサポートして上電を盛り上げよう！

## 挨拶 友の会第6号発刊にあたって

平成に入って早四半世紀が経過し、この間の経済不況やデフレ基調、交通業界の規制緩和、リーマンショックや東日本大震災等、日本の社会経済情勢の変革など、年月の早さに感慨と覚えるとともに、奔走する日々が続いています。

今回の消費税率アップは、生活を直撃するでしょうが、本会の皆様方には少しでもプラスへの作用があることを念じまして、本誌 6 号の巻頭の挨拶といたします。

(代表 大島登志彦)



## ス スタンプラリーと流鉄

上電友の会会員の皆様、赤城いずみです！

今年も、上毛電鉄と友の会を、どうぞよろしくお願ひ致します。赤城いずみちゃんキャラクターボイスを担当させていただいています、堀込聖美です。昨年 10 月から今年1月末まで、恒例の、上毛電鉄スタンプラリーが開催されました。今回は、千葉県流山市から松戸市を走る「流鉄流山線」と共同開催となり、群馬県と千葉県という、関東圏内でのスタンプラリーとなりました。流山駅から少し歩いたところに、赤城神社という神社があります。この赤城神社(の丘)は、上電からも見える赤城山の土が流れ着いたという伝説を持つ神社だそうです。上電と流鉄を結ぶ意外な接点です。このご縁によって、今回のスタンプラリーは実現したのでした。流山駅は、木造のとても素朴な駅舎で、古い運賃表の山手線表記は、一見の価値ありです。また、編成ごとに愛称があり、「あかぎ」は臙脂色、「銀河」は銀色、など、カラーも異なります。また、流鉄流山線の走る流山市は、新選組縁の地でもあります。駅から徒歩圏内に、新選組陣屋跡、光明寺や流山寺などが点在し、鳥羽伏見の戦い以降、京から北へ北へと転戦していく、新選組の軌跡の一端を辿ることができます。

スタンプラリーを紹介した特設サイトも開設。

(<http://www.jomorailway.com/supporters/stamp2013/index.htm>)

こちらのサイトにて、赤城いずみちゃん、上毛といちくんの、ボイス付スタンプラリーガイド動画をご覧いただけます！

上毛といちくんにも、ついにボイスがつかました。

まだサイト上にて公開中ですので、ぜひパソコンや携帯電話スマートフォンからご覧くださいませ。

なお、上電グッズは役員会で厳正な抽選の上、当選者に発送しました。コンプリート賞は、4月27日の春イベントでお受け取りいただけますので、是非お越しくださいませ。(堀込聖美)



上電 & 流鉄赤城山スタンプラリー皆様のご参加本当にありがとうございました

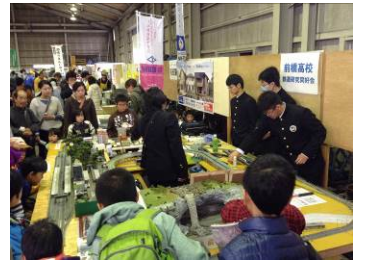


## 学 前橋高校鉄研ジオラマ展示

私たち前高鉄研は、11月10日に開催された上電秋のイベントにおいて、鉄道模型ジオラマを展示いたしました。今回のジオラマは、「シンプルで扱いやすいこと」をテーマに製作を進めていきました。このテーマのもと、様々な車両を走らせることができる入れ替え線を組み込んだレイアウトに、長編成が入れる大きな駅、ビルが立ち並ぶ大通りや密集した住宅街をイメージしました。建物の中には厚紙などを使って自作したものもあります。また、夏に開催された全国高校鉄道模型コンテストに出展した作品もジオラマ内に設置しました。当日子どもたちが興味津々にジオラマを眺める姿が印象的でした。多くの方にご覧いただいたことを大変うれしく思います。そしてこのような展示の機会を頂けたことを感謝します。上毛電鉄の皆様、友の会の皆様ありがとうございました。

最後に、今回のイベントの活動報告をはじめ、会員による鉄道に関する調査などをまとめた同好会誌がネットからダウンロードできます。ぜひご覧になってください。今後も皆様に楽しんでいただける作品の製作に取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。(前高鉄研会長 町田悠輔)



## 歩 バスハイキング@長野県上田市

昨年の新潟に続く第 2 弾企画に、隣席の悪魔の招聘により参加することとなりました。今年は上田市、平成 24 年に「上・電」繋がりでスタンプラリーを実施したのがきっかけと聞いています。中央前橋駅から細長くダックスフンド犬のような形の関越交通バスに乗り込み、いざ出発！若い運転手さんは快調に高速道路を走っていきます。

長野県の大屋駅はしなの鉄道の駅。そこから約 40 年前に廃止された丸子線の跡を歩きます。ひたすら道路、途中で長野新幹線をくぐったりもしましたが・・。驚いたのは、参加者が沿線のお年寄りに声をかけたところ、ご自宅から電車が走っていたころの写真パネルを持ち出して見せてくれたこと。誰も予期しないハプニングに鉄道好きな方はたいそう喜んでいました。

終点の丸子駅まで歩いたのち神社でお昼を食べ、上田電鉄の昔の車両を見学してから、今の電車に乗り、別所温泉に行きました。別所での自由時間は、温泉街を歩いて散策しました。

今回の廃線跡ウォークは前回とは異なり、痕跡があまり判然としなかったこともあり、殷賑を極めた施設であつても時とともに風化してしまうという一抹の寂しさを感じましたね。(近藤宏紀)



## ○第一部(赤城山と観光)

東武博物館名誉館長の花上義成氏から事前にお送りいただいた資料・やグッズを題材に、花上名誉館長と上毛電鉄友の会代表、大島登志彦によるトーク「赤城山と観光について」が午前の第一部です。事前に頂いた資料をパワーポイントに取り込み、桐生の市民活動推進センター「ゆい」の機材をお借りして、ちょっとしたプレゼンぽく仕上げました。

花上名誉館長の資料には、まさかこんなものが、というような貴重なものが出るわ出るわ。一言でいうと楽しい。また、大島代表は群馬の交通事情に精通している。

赤城山頂は現在、前橋市に属しており週末には直通バスが運行していますが、昭和の時代、東京から程近い赤城山に多くの資本が投じられていたこと、日光や鬼怒川、軽井沢のようにならずに、現在の赤城山があること、この状況に至るまでの原因や反省点は何か、これからどのように赤城山を活かしていくのか、など思いを巡らせながら聞いたトークでした。



## ○第二部(友の会活動)

昨年に引き続き、午後の部は、友の会の活動報告となりました。メンバーは、平岡役員、堀込役員、デハ3021模型作者の小林氏、前高鉄研から三橋氏、筆者(新保)が壇上に上がりました。

堀込役員は、上毛電鉄友の会マスコットキャラクター「赤城いずみ」のキャラボイスを担当する声優さんです。スタンプラリーの案内ビデオの製作では、男の子キャラ「上毛といち」の声の吹き込みにもご協力いただきました。こんなに違う声が出るものか、とびっくりでした。

当日は、鉄道員ぽくジャケットと制帽姿で、トークショーにお越しいただいた皆さんの視線を一身に浴びていました。ショーの終了時には、いずみちゃんの生声も披露してくれました。

トークの内容は以下のとおりで、ちょっと手前味噌になってしまいましたが、最後までお付き合いいただいた参加者の皆様方に改めて御礼申し上げます。(新保正夫)

- 恒例になりつつあるデハ101ピール電車(8月)
- 流鉄さんとコラボした「友の会スタンプラリー」実施のきっかけ、事前の諸準備や流山市の流鉄本社への訪問(8月~翌1月)
- 群馬テレビ「ぐんま一番」出演あれこれ(10月)
- 中小私鉄フェア 前橋高校鉄道研究同好会ジオラマ展示 製作運営(11月)
- デキ3021模型 製作の経過(9月~1月)



デキ3021は、2009年に上毛電鉄にやってきた電気機関車です。この機関車は1929年に製造され、最近まで東急電鉄の長津田工場に入換に使われていました。上毛電鉄には牽引目的ではなく車両の保存を目的として入線し、現在では構内を動けるようにまで復元されています。今回は、このデキ3021のミニトレイン(5インチゲージ)を作らせていただきました。

製作過程…ミニトレインを製作するにあたっては、友の会副代表の佐羽さんが所有する上信電鉄のデキ1の下回りを利用させていただけることになったため、車体のみの新製となりました。デキ3021として走行させる場合に、上信デキ1の車体を載せ替えるだけで対応できるように縮尺を調整しています。

車体はバルサ材の板を使用し、部材ごとに切り出しています。一人暮らしのためアパートの玄関前での切断作業になりました。他の住人のかたに迷惑をかけていなければよいですが…(ちなみに隣は空室です)。なお、資材と加工技術が足りないため、パンタグラフは傘の骨を流用しています。車体が組み終る頃には実家のある桐生に輸送され、全身を黒く塗装しました。全体的に製作過程において不足する材料・道具が多く苦労しました。

製作終了後11月17日に開催された鉄道シンポジウムにて、車体のみ展示させていただきました。新春イベントまでには追加で手すりや台枠の取り付け、佐羽さんに頂いたスモーク入りのプラ板を使った窓の作成をしています。また、イベント前試運転後に、車高を下げるために台枠を改造しています。

2014年新春イベント…ミニトレインの運行をしている2015年の公共交通を作る会様のご好意により、デキ3021ミニトレインの運行開始式典が開催され、テープカットまでしていただき、走行デビューすることができました。前日に慌てて作ったドア横の白い手すりが、思いのほか黒い車体によいアクセントになったと思いますが、いかがでしょうか。運行自体は盛況で、ほぼ休み無く走行していたので作製して(無事に間に合っ)よかったと思いました。



塗装前の画像



今後の製作について…イベント終了後は実家に置かれているデキですが、今後塗装の修正や表記の記入、細かい部品の取り付けを行い改良していきたいと思います。最後になりますが、上毛電鉄様をはじめ、ミニトレイン製作に協力してくださった佐羽様、2015年公共交通を作る会の皆様、運行していただいた前橋高校鉄道研究同好会の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。これからもデキ3021のミニトレインをよろしくお願いします。(小林直樹)

## 編集後記

年明けですぐの1月から、この会誌(6号)の作成に着手して、2月中旬には発行しようと考えておりましたが、あっという間に平成25年度末を迎えてしまいました。この間、前橋市では、2月15日の未明にかけて大雪73cmの衝撃に打ちのめされ、個人的には職場の担当が変わってしまったりと激動の3ヶ月でした。こんなときには、上電などに乗って鉄分を補給し、心安らかな日々を送りたいと…。(児玉洋)

## 会員の継続をお願いします



平成25年度は、友の会活動にご理解とご協力を賜り、御礼を申し上げます。次年度会費の納付書(手数料は不要)を同封しましたので、ぜひ会員継続をお願いいたします。なお、4月27日の上毛電鉄春イベントでも更新の受付をいたします。

## ○今後の予定

5月31日(土) 第4回上毛電鉄友の会ハイキング 桐生史談会おすすりコース「旧街道でめぐる相生村と富士山登山」

上毛電鉄天王宿駅9:00集合 参加費用:300円

※ 同日、午後5時から、桐生駅構内、桐生市市民活動推進センター「ゆい」で、上毛電鉄友の会の総会を開催します。

(友の会事務局)

発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/index.htm>

E-mail [supporters@jomorailway.com](mailto:supporters@jomorailway.com)